



TimeSpace



クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2019年6月28日基準

★ブレグジット前のイギリスを訪ねて



2016年6月23日にEU残留派圧勝の予想を裏切り、僅差でブレグジットが国民投票で選択されました。当時のショックの大きさは、世界の株式市場の大暴落として現れました。それから約3年、イギリス政府と議会の混乱ぶりは世界中の人々の知ることとなり、思慮深い大人の国のイメージはすっかり色あせてしまいました。そんなブレグジットもいよいよ10月末に迫り、現在ではEUと交渉決裂のままでのブレグジット(ハードブレグジット)も現実味を帯びて来ました。そんな現在のイギリスはどうかという事で訪問してみました。

パリの北駅を出発して、わずか2時間半でユーロスターはロンドン市内に到着しました。この距離感には列車ならではの感覚が、まさに東京大阪間を移動する感覚で、まさに距離も時間もほぼ同じです。どちらかと言うとロンドンが東京で、パリが大阪と言った感じでしょうか。エスカレーターに乗る際に左右どちらに寄るかという違いがある点もそっくりなのは驚きます。パリでは渋滞が慢性化し、車の合間の狭い歩道を臭い排気ガスを吸いながら歩かなくてはならず、毎週末に繰り返された黄色いベストのデモの影響もあり、何かと暗い影の残る印象でしたが、ロンドンではそれが一変します。

ロンドン名物の赤い二階建てバスとクラシックな黒いタクシーがロンドンの街並みにマッチし、それ以外の車は市内への乗り入れが規制され、渋滞とは無縁の道

路、それに広々とした歩道や歩行者天国など、大都市の中心とは思えないほど快適です。今回は、ロンドンには珍しく快晴で、青空がさらに鮮やかに見えました。ただ一番驚いたのは、皆さんのくつろいだ雰囲気ですかね。連日の様に報道される政治の混乱とは全く無縁の様でした。



実際ブレグジットに関しては、賛成派は兎も角、反対派も3年も続いた議論と混乱に疲れ果て、もう早く決着をつけたいというムードが漂っています。おそらく根底には大英帝国時代の繁栄の歴史が妙な自信をもたらしているのかもしれない。「心配なのはアイルランドの国境問題だけで、後はなんとかなる」というのが今の大勢の様な気がしました。

実際の経済面ではどうでしょうか。もつとも顕著なのはポンドの下落です。ユーロに対してブレグジットの騒動以来約20%下落しています。このためアルコール類など一部高級食品の物価が上昇しているようですが、食品価格はドイツのディスカウナーの参入もあり、あまり上昇していないとのこと。またプレミアムと呼ばれる高級な不動産市場は為替を含めるとかなりの下落となり、当初はアジア系の資金が入ってきたものの、現在は動きがないようです。同じ不動産でも一般の住宅価格は、EUからの建設労働者の流入の減少で、慢性的な住宅不足に拍車がかかり、けっこう底堅い様です。意外なのが南仏の高級リゾートの不動産の下落です。ポンドの下落で取得

きる年金が目減りしたため、余生を南仏でと思っていた定年後のイギリス人が南仏からイギリスへ戻っているのが原因だとか。

またホンダの工場閉鎖で話題になった製造業ですが、その地方経済に与える影響は大きいものの、もともとイギリスの強みは世界的な金融と大学に代表される教育分野で、これが今後どうなるかがポイントのようです。既にハードブレグジットに備え、各金融機関もフラン克福ルト、パリ、ルクセンブルク等に拠点をつくり対応している様ですが、ロンドンでの生活を好む人材が圧倒的に多く、人材の移転は進んでおらず、どこまで実際に機能移転できるかは難しそうです。教育分野ではEUからの学生は大きく減少する一方、それ以外の国からはポンドの下落の影響もあり増加しているようです。



ロンドンの「花金」。仕事帰りにパブで楽しむ大勢の人々。

今後の可能性として現実味を帯びてきているEUとの交渉決裂によるハードブレグジットですが、実際はイギリス側を中心に、かなりのシヨック緩和策を用意している事も、皆の「なんとかなる」感を助長している様です。

今回の短い滞在でわかった事として、仮に最悪のハードブレグジットとなったとしてもあまり大きな影響は出ない、と意外なほど楽観的なイギリスの様子でした。それがかえって不気味な気もしました。果たしてこのブレグジットがどの様な条件になり、どの様な事態を引き起こすのか？結局その本当の影響が現れるのは、今から何年も経った時点かもしれない。

今回の訪欧の報告会を東京（7月19日）と大阪（7月20日）で開催します。訪問した4カ国の状況や各地のフアンドの解説も行いますので是非ご参加下さいね。

多根幹雄



★マーケットコメント

5月初めに決裂した米中貿易協議が、解決の糸口を見いだせない状態のままではあるものの、実質的な最終衝突には至りません。世界経済への影響が、限定的な中、6月末の日本でのG20で米中首脳会議が決まり、完全ではないにしても、解決に向けて動き出すという期待感から株式相場は上昇しました。特にNY市場は利下げ期待が高まる中、FOMCでパウエル議長が「米経済への下振れリスクが最近強まった。景気拡大を持続させるために適切に行動していく」と発言。実質的に、年内の利下げを容認し、さらに上昇を加速しました。G20中の米中首脳会談でも、貿易協議の再開やファーウェイへの制裁緩和で合意、貿易交渉の進展が期待され、株価上昇で取引を終えました。



日本株式市場も、米国市場の上昇を受けおおむね好調に推移しました。中旬での米FRBパウエル議長の利下げ容認発言で為替が円高に振れ、後半はやや足踏み状態となりましたが、G20中の米中首脳会談の結果を受け、7月に入って大きく上昇しています。大阪G20で米中貿易問題を含む多くの懸案事項は緩和の方向に向かい、相場が回復するなど、政治的要因で感に変動する環境ですが、実体経済が好調である事には変わりなく、大きく下落する時点では、買い場を探してゆく予定です。

磯野昌彦



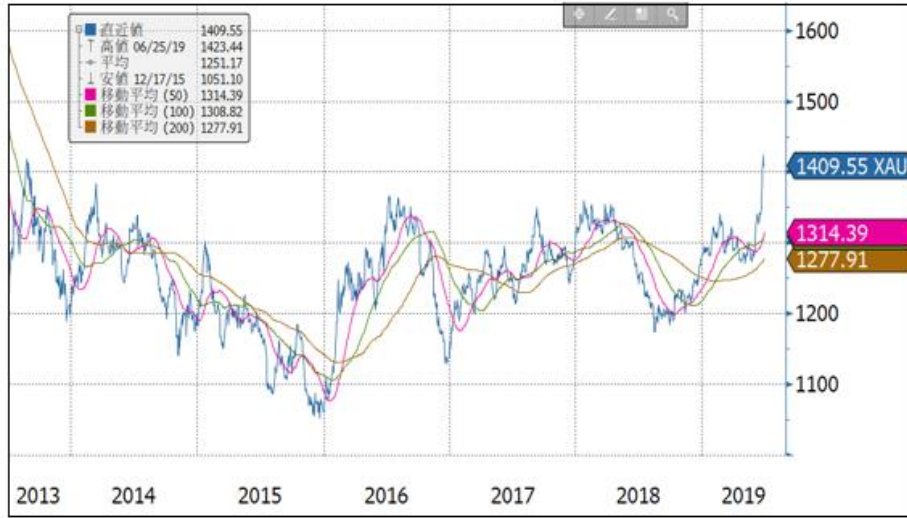
コドモファンドが3年連続「一億人の投信大賞」に選ばれました！ 国内株式部門2位 これも皆様のおかげと感謝しております。

「一億人の投信大賞」は個人の立場で投資信託による資産形成を啓蒙するために、非営利の任意団体である「一億人の投信大賞選定委員会」がデータをもとに選定した投信大賞です。

「一億人の投信大賞 2018」は、過去の情報にもとづくものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、掲載している情報は参考情報として提示するものであり正確性・完全性を保証するものではありません。



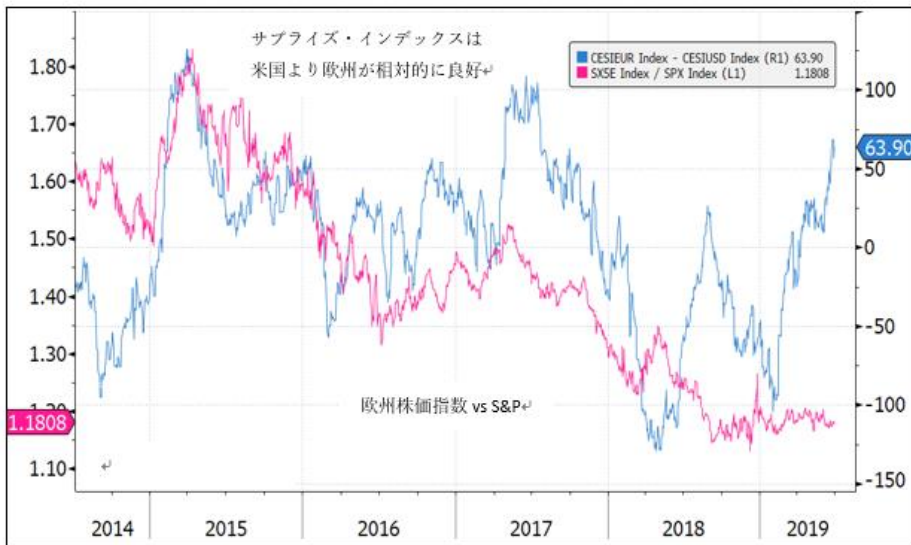
図表1：金価格の上昇はあまりに早い？



Source: Bloomberg

6月は非常にホットな(暑い)月でした！まず政治面からみると、トランプ大統領が中国だけでなくメキシコに対しても強硬な姿勢を示しました。中東ではイランが米国のドローンによる落としたことや、正体不明の“海賊”によるタンカー攻撃を巡り緊張が高まりました。

図表2：欧州市場の見通しのほうが明るい？



Source: Bloomberg

一方、経済面に目を転じると、弱い世界経済見通しを受け中央銀行が緩和的な金融政策に傾斜するのではとの市場の思惑から、米国債利回りは2%台に押し下げられ、ドイツ国債の利回りに至ってはマイナス圏に沈みました。
利回り低下と投資家の逃避行動は金価格を押し上げ、月末の金価格は2013年中央以来の1400ドルを付けました(図1)。しかし、こうした急激な上昇は地政学的な緊張や貿易を巡る緊張が緩和すれば価格調整を招きやすくなるので注意が必要です。

欧州の経済見通しは米国対比で相対的に良好であるにもかかわらず、株式市場は米国と比較して軟調に推移しています。米国企業よりも欧州企業の方が輸出への依存度が高いことが背景にあると考えられます。よって、習近平主席とトランプ大統領が大阪で貿易戦争の休止を宣言したことは投資家の欧州株式市場に対する自信回復を後押しする可能性があります。
(図2 青線は欧州のサブライズ・インデックスから米国のサブライズ・インデックスを引いたもの。つまり、青線の上昇は欧州の経済指標の結果が米国と比較して良好ということを示唆。赤線は欧州株式指数/S&P株式指数。赤線の低下は欧州市場のパフォーマンスが米国対比で相対的に弱いことを示す)

勿論、一般的には良好な貿易環境は世界の株式市場にとってプラス材料となります。最近発表された経済統計の結果が芳しくなかった中国が、今回の貿易戦争休止の恩恵をまっさきに享受する国であることは間違いないでしょう。ただし貿易戦争の休止はあくまで休止であって、貿易交渉の再開を意味するにすぎません。よって、投資家の市場心理は一時的には回復するでしょうが「解決」というには時期尚早です。

6月は非常にホットな(暑い)月でした。北海道は月初めに、欧州は月後半に熱波に襲われたこの時期としては記録的な気温上昇に見舞われました。これは気候変動、もしくは「温暖化」によってもたらされた結果と考えるべきでしょうか？その答えが何にせよ、この度大阪に集まった米国を除くG19は、温暖化問題を巡って政府や一部企業が目標とすべきガイドラインを示しました。これらのガイドラインは長期的に株式市場に良い影響をもたらすと当社では考えています。このテーマは今後さらに重要なテーマになっていくでしょうし、今後本レポートでも取り上げていけたらと思います。

樋口恭信

浪花おふくろファンド

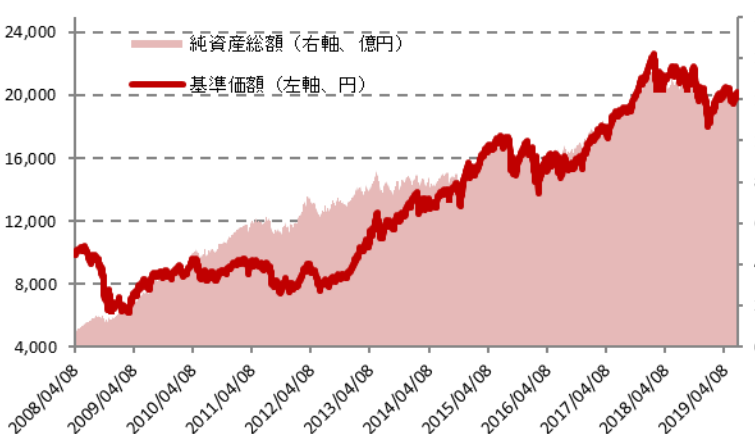
じっくりどっしり長期運用

【6月の運用コメント】

大型株主体の株価上昇であったため、残念ながら出遅れてしまいました。コムジエスト・ヨーロッパファンド90、同エマージングファンドが大きく貢献したものの、他の中小型株ファンドが振るわず基準価格は前月比+1.93%にとどまりました。

上昇局面が見えてきた段階で、コムジエスト・ヨーロッパ90、同エマージング95を新規購入、キャッシュ比率は18%弱となっています。

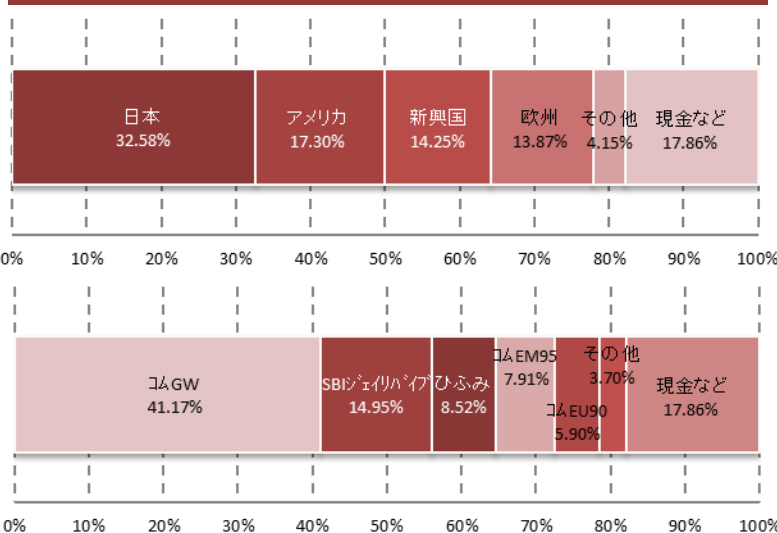
基準価額と純資産総額の推移



浪花おふくろファンド概況

基準価額	20,099円	信託期間	無期限
純資産総額	1,220百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全7本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.93%	0.62%	7.38%	-5.27%	33.11%	100.99%
				(複利年率)	(複利年率)
				(10.02%)	(6.42%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.972%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.6±0.25%(税込/概算)
------------------	--

コモファンド及び浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

コモファンド

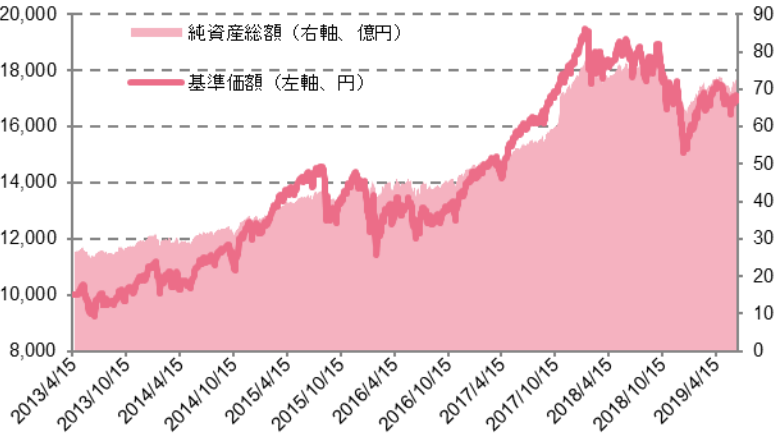
変幻自在ずーっとおまかせ

【6月の運用コメント】

大型株主体の株価上昇であったため、残念ながら出遅れてしまいました。コムジエスト・ヨーロッパファンド、同エマージングファンド95が大きく貢献したものの、他の中小型株ファンドが振るわず基準価格は+1.52%にとどまりました。

上昇局面が見えてきた段階で、コムジエスト・ヨーロッパ90、同エマージング95を新規購入、キャッシュ比率は約7%となっています。

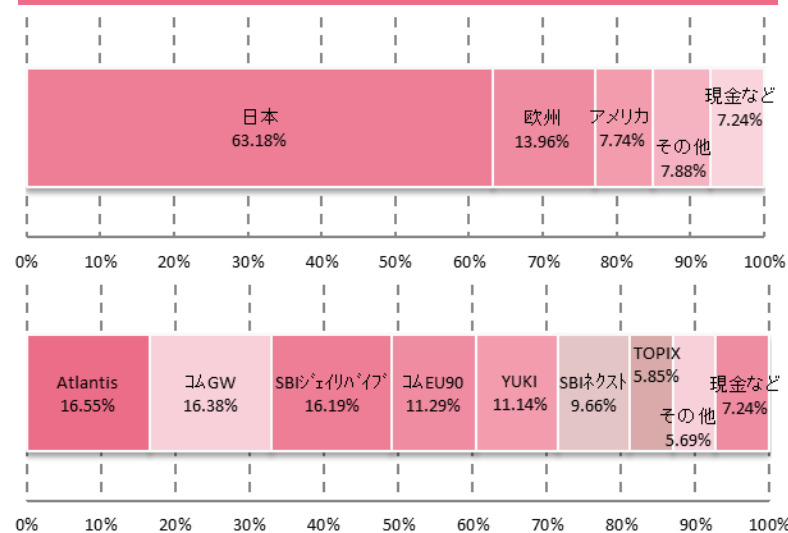
基準価額と純資産総額の推移



コモファンド概況

基準価額	16,999円	信託期間	無期限
純資産総額	7,206百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全13本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
1.52%	-0.05%	9.23%	-7.70%	37.17%	69.99%
				(複利年率)	(複利年率)
				(11.13%)	(8.93%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率1.08%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.7±0.4%(税込/概算)
------------------	--

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

【6月の運用コメント】

大型株主体の株価上昇であったため、残念ながら出遅れてしまいました。コムジェスト・ヨーロッパファンド、同エマージングファンド95が大きく貢献したものの、他の中小型株ファンドが振るわず基準価格は前月比+2.31%にとどまりました。

上昇局面が見えてきた段階で、コムジェスト・ヨーロッパ90、同エマージング95を新規購入、キャッシュ比率は15%となっています。

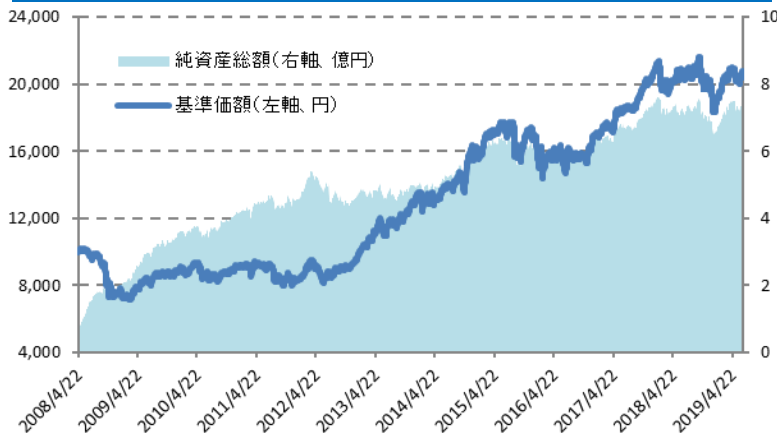
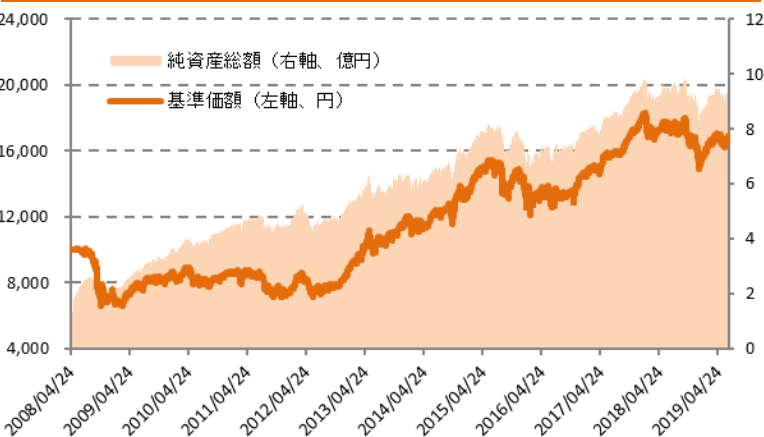
【6月の運用コメント】

大型株主体の株価上昇であったため、残念ながら出遅れてしまいました。コムジェスト・ヨーロッパファンド、同エマージングファンドが大きく貢献したものの、他の中小型株ファンドが振るわず基準価格は前月比+2.68%となりました。

上昇局面が見えてきた段階で、コムジェスト・ヨーロッパ90、同エマージング95を新規購入、キャッシュ比率は12%となっています。

基準価額と純資産総額の推移

基準価額と純資産総額の推移



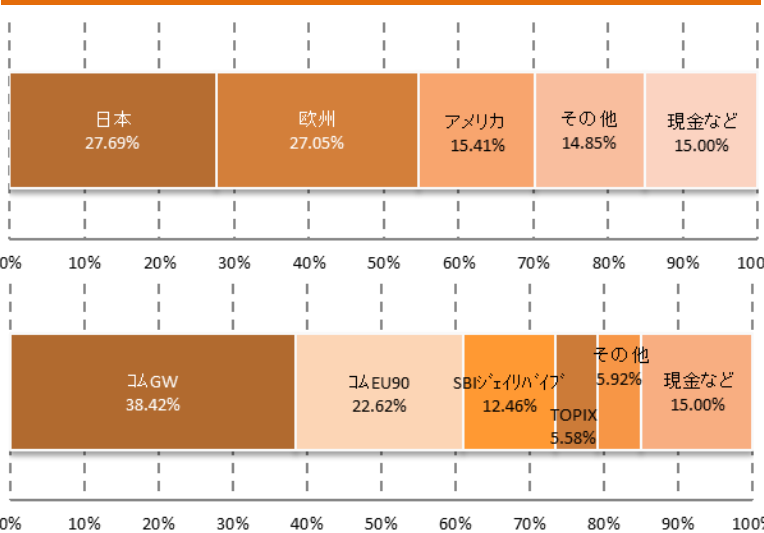
らくちんファンド概況

基準価額	16,791円	信託期間	無期限
純資産総額	939百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月24日	(休業日の場合は翌営業日)	

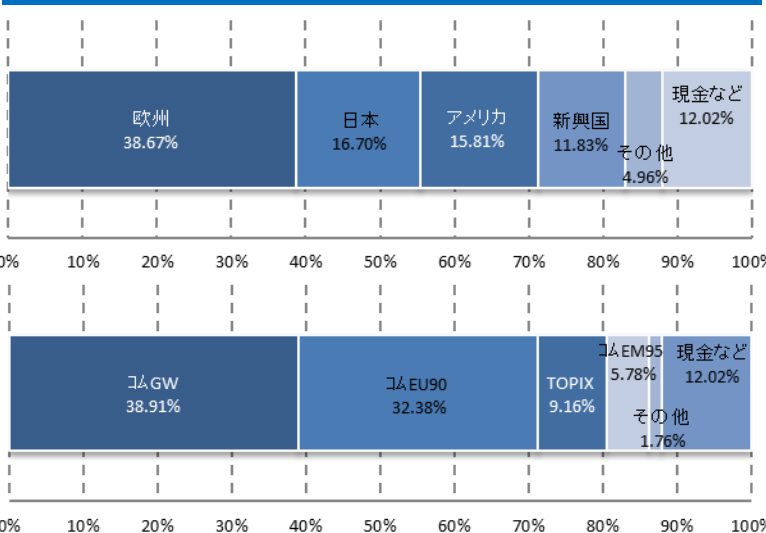
かいたくファンド概況

基準価額	20,671円	信託期間	無期限
純資産総額	737百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月22日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全8本)(上段:国別、下段:ファンド別)



資産構成比率(組入ファンド全6本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.31%	1.13%	8.78%	-3.40%	31.48%	67.91%
(複利年率) (複利年率) (複利年率) (複利年率) (複利年率)					
(9.57%) (4.74%)					

期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
2.68%	1.37%	10.16%	1.32%	38.19%	106.71%
(複利年率) (複利年率) (複利年率) (複利年率) (複利年率)					
(11.41%) (6.71%)					

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.972%(税抜き0.90%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.55±0.2%(税込/概算)
------------------	---

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.756%(税抜き0.70%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.4±0.2%(税込/概算)
------------------	--

かいたくファンド及びらくちんファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。監査費用、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.108%(税抜0.10%)を上限として信託財産から支払うことができます。

クローバー・フェイスブックから

2019年6月8日・21日

★長期投資セミナー アメリカ村&京橋

『成長企業への投資プロセスPart5』

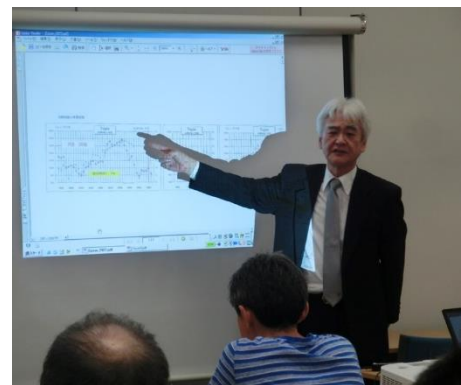
大阪では、シリーズを楽しみにしてこられるお客様(今回は、普段東京でご参加の方も)、押谷さんのセミナーをネットで探しての新規参加者も含め大盛り上がりになりました。米国は、トランプ減税の恩恵を受け企業業績は堅調、米中貿易問題はあり、マーケットは足踏み状態だが、個人消費はおおむね堅調なので大きな下落はないだろう、とのお話。参加者からの質問に答えて、「企業経営者の責務は、①社会への貢献、②EPS成長、③雇用の拡大」という言葉が胸に響くセミナーでした。



多根社長欠席のため、私(磯野)から、恒例の直販ファンドオブファンズ成績順位(クローバーの4ファンドが2〜5位独占)、新規組み入れ銘柄の開拓の話の説明させていただきました。やはり、「押谷さんの講義は難しい！」と女性陣から声が上がリ、その声に押されて「では、初心者向けのなんでも質問受ける基礎編のセミナーをやりましょう！」と押谷さんから提案があり、かなりの人数の方が反応していました。



東京でも、いろんな生データを分析して行くこと結構面白いことがわかりました。今回は、各国の四半期ベースの小売り売上の推移グラフのトレンドラインを見て景気動向を確認します。それによると、ブレグジットで揺らいでいるはずの英国の消費が実は2016年からむしろ堅調になってきてるんです。イメー



ジとは正反対ですね。勉強になります。このシリーズ、多少、難しい部分もあるので大阪同様「補講！」要望も出ました。

参加者のうち3名は初めての方でした。2名は多根社長の本を読んで、1名は押谷さんの講演をほかで聞いて来られたということです。ありがたいですね。



★痛みと過ごした平成に

「さようなら」

平成最終月に左股関節の人工関節置換術を受けました。

持病の変形性股関節症とは、25年の付き合いです。最初は、足の付け根の痛みが気になって整形外科を受診したら、いきなり病名と「痛みが続くようになれば手術ですね」と告げられました。それから5年、徐々に痛みで歩行が困難



になり、右股関節の関節温存手術（骨盤の一部を股関節に移植）を受けました。「左も右が回復したら手術だね」と言われていましたが、1ヶ月間ベット上↓2ヶ月半 車椅子と松葉杖の入院生活は100日。退院後も長い間、杖に頼っていたので2回目は回避したい一心でした。リハビリのための水泳と、体重は増えた分の3倍の負担が股関節にかかると言われ減量も頑張りました。

その結果、術後3年で経過観察不要になりましたが、左足の爆弾を抱えたまま。引越しを機にかかりつけ医を探していたところ、10年来のお付き合いになる箕山ドクターを近所の薬局から紹介されました。ジム併設のスタイリッシュなクリニックでイケメンドクターから「トレーニンングで温存治療をしますか」と言われ、今では自称名誉会員です。アスリートから高齢者まで、殆どの会員が故障を抱えていて、担当トレーナーが一人ひとりに合わせたメニューに沿って、きめ細かい指

導をしてくれます。年1回以上の診察、週一回のリハビリとジムのトレーニンングを継続し、一時はリハビリも必要ないほど回復しました。

ところが、昨年春頃から20年前を思い出す痛みが現れ、ドクターに相談したところ「最近の人工関節手術は2週間で退院できるらしい」と言われ、「エー2週間で退院？」と玉川病院に紹介状を書いていただきました。我が家からは徒歩圏内の玉川病院ですが、人工関節手術では、全国二位の症例数を誇り、初診は、予約から3ヶ月待ちの9月。診察では「いますぐにでも手術してもよい状態。決心がついたら連絡ください」と言われました。職場への復帰期間については、「入院期間は約2週間で、早い人は退院の翌日に出勤した人もいる」とのこと。20年間ずっと手術を決定できなかった私の悩みは何だったのか？と、医学の進歩に驚き、頑張ってきたよかつたなと実感しました。とはいえ、パリッアー、決算対応、10連休対応、株主総会等々。株主総会後の7月に手術を想定していましたが、クローバーのみんなの協力により10連休前に手術をして、私だけ21連休を頂くスケジュールを立てることが出来ました。

入院当日は、看護師さんによる手術前後のオリエンテーションで20年前との差に驚愕。術式は違うのですが、1ヶ月間ベット上で過ごした私にとって、手術当日の夕方にベットから車椅子に移動、翌日は車椅子で集中治療室から自室に移動、



次の日からはリハビリ開始という夢のようなスケジュール。



本当に出来るのかと思っていたら、現実はそれ以上。手術は1時間以内に終了し、術後3時間で自分のスマホで家族とメールのやり取りができました。流石に食事は翌日の朝食からでしたが、とても美味

しいお粥を完食。術後2日目には、自分でシャワーを浴びました。この日は、クローバーのネット中継セミナー当日で、予定外でしたが磯野専務と電話で打ち合わせも出来ました。病院では、パソコンも使用できたので、お見舞いメールや大好きなお花の写真を送っていたいたり、入院生活10日間を満喫し、4月26日平成最後の退院可能日に退院することができました。退院の翌々日にはジムに復帰し、GW中は2日に一度はジム通い、予定通りGW明け5月7日に仕事に復帰。術後2ヶ月目から杖も外し、今では少しずつ歩ける距離も伸びています。快適な入院生活とその後の回復の早さは、玉川病院の主治医をはじめ股関節センターチームと箕山クリニックのみなさんのおかげです。入院中に患者同士で見合わせた自分のX線写真のインプラントは一人ひとり形が違っていて、ミリ単位でその患者に合ったインプラントを選択し、術後、麻酔が覚めない間にどの角度でも脱臼しないよう調整すると聞きました。

「神の手」に頂いた、痛みのない第二の人生。令和の時代は、見た目も中身も大変身して、新しいことに沢山チャレンジしたいと思っています。

★森京子



『将来のための“はじめの一步”』“お先に失礼!!”【資産運用の世界へのご案内】

 はじめの (初級)

7月17日(水)
18:30~20:00


当社会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
定員5名

田子 慶紀(当社取締役業務管理部長)



『ヨーロッパ出張報告会』

 ふやす (中級)

7月19日(金)
18:30~20:00

東京スクエアガーデン6F
京橋環境ステーション内 研修室1
東京都中央区京橋3-1-1

定員40名
無料
(交流会参加費1,000円)
定員35名

多根 幹雄(当社代表取締役社長)



7月20日(土)
13:00~15:20

パリミキ アメリカ村店2Fサロン
大阪市中央区西心斎橋2-10-30

『ぷらっと銀座で学ぼう会』“この夏休みこそ、生活設計にメスを！”

 はじめの (初級)

7月26日(金)
14:30~16:30

当社会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

無料
先着6名

森田久美子氏
(CFP、
1級ファイナンシャルプランニング技能士)



『成長企業への投資プロセス 補講』

 ふやす (中級)

7月26日(金)
18:30~20:00

当社会議室
東京都中央区京橋3-3-4 京橋日英ビル3F

定員15名
無料
(交流会はありません)
定員25名

押谷 孫行氏
(ユキインベストメント代表取締役)



8月3日(土)
13:00~15:00

難波市民学習センター 研修室
大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル4F

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバーから大切なお知らせ

【「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」の発送について】

「取引残高報告書(定期交付)」・「ご投資状況のお知らせ」を送付・電子交付しました。

「取引残高報告書(定期交付)」は四半期毎に作成され、その期間のお取引を記したものです。

今回は2019年4月~6月末までにお取引(売買等)があったお客様および期間中にお取引がなくても残高がある場合には、最後の取引から1年が経過したお客様が送付・電子交付の対象となっております。

【ファンド購入連絡方法について】

当社では、ファンド購入に際し、購入連絡が必須となっております。この度お客様の利便性向上のため、スポット購入におけるファンド購入連絡方法を追加いたします。

詳細につきましては、別紙「ファンド購入連絡方法追加のご案内」をご参照ください。

なお、現在ファンド購入時、対象のお客様にお送りしております、下記①②のメールにつきまして、今後は省略させていただきますので、何卒ご了承ください。

スポット購入:①【ご注文ありがとうございました。】

毎月つみたて購入:②【「取引報告書」電子交付のお知らせ】

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、 **8月5日(月)**

8月分金額変更・中止・再開締切日・・・**7月23日(火)**

9月分新規・口座変更締切日・・・**8月1日(木)**

*毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間:平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp